



中等部

中等部 (Middle School) での学びは、生涯を通じて意味のある関心事を探し、発見することです。

中学生時代(7年生～9年生)は、子どもから青年になっていく、重要でチャレンジに満ちた年代です。生徒たちは、自我と向き合い、制度に挑戦し、自己の可能性と世界の中の立ち位置を探ります。

当校中等部のプログラム、カリキュラム、環境は、そのチャレンジに満ちた刺激的な年代のただ中にある生徒たちの学問的、人間的な発展を促すよう特に考えて作られています。中等部教職員は、思春期の生徒たちが確固たる制度と固定観念への挑戦の両方を必要としていることをよく理解しています。そして、特別教職員、特にスクールカウンセラーは、生徒たちの一步一步を見守っています。

中等部ではカリキュラムの幅が少しずつ広がっていき、生徒たちは自分自身で自らの学習プログラムを選択するように求められます。7年生から9年生にかけて、生徒たちは幅広い選択科目の中から自分の興味ややる気に基づいて様々な分野を履修し、高等部で自分の進路を選択する準備をします。

中等部プログラムのハイライトは、9年生で実施されるコミュニティー都市環境(CUE)プログラムです。この体験型学習プログラムは、牧会指導部が主催し、学習にも配慮する一連の活動であり、地元共同体への認識を深め、アジア地域の一部としてのオーストラリアの置かれた位置について理解を拓げます。生徒たちは教室を出て、自立した行動を取り、イニシアティブとチームワークを発揮するよう促され、新しい体験やものの見方を学べるようになっていきます。CUEプログラムの最後には、ビッグエクスペリエンスとよばれる三週間の修学旅行があります。この修学旅行では、特に奉仕と環境持続可能性を集中して学びます。